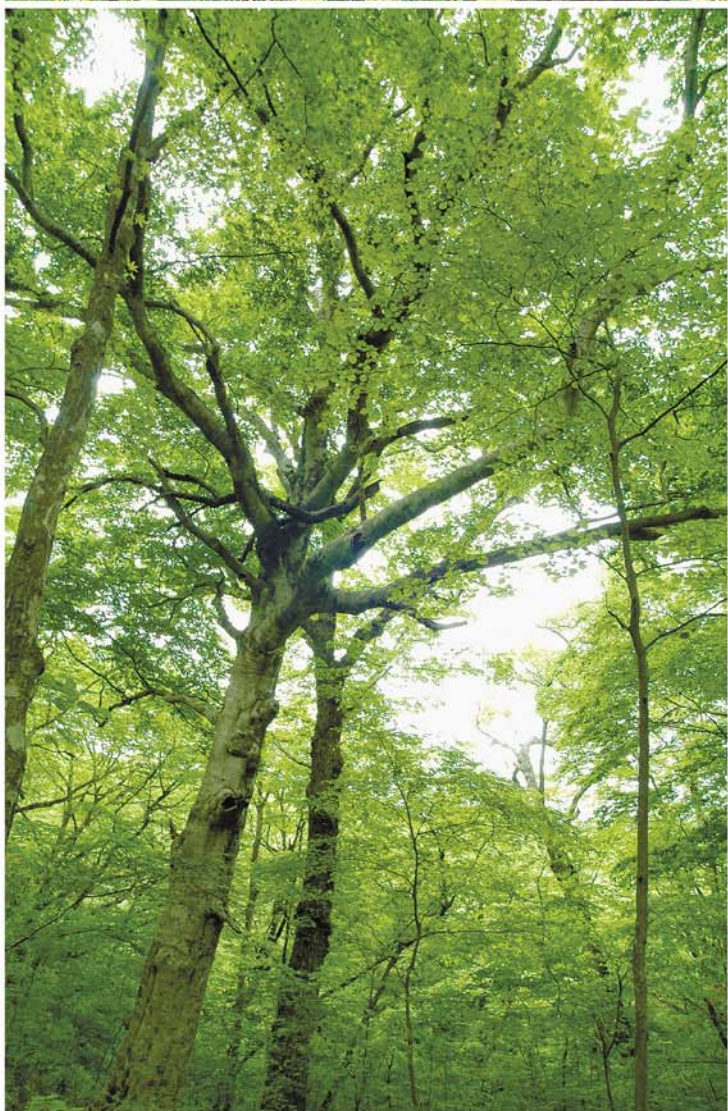


花貫溪谷 汐見滝吊り橋 (高萩市)



定波のブナ林 (北茨城市)

多賀山地エリア



多賀山地は、阿武隈高地の南端部で、北茨城市、高萩市、日立市、常陸太田市にまたがっている。秋の紅葉の名所が点在し、それぞれが新緑の名所にもなる。

花貫溪谷の汐見滝吊(つ)り橋(高萩市中戸川)も、その

ひとつ。花貫溪谷の近くでうどん店を営む三代妙子さん(73)も「秋に訪れるお客さんたちにも、いつも春の美しさを

伝えています」と話す。北茨城市関本町小川の定波のブナ林では、有史以来変わらぬ春の自然の営みを感じることが出来る。同林は、林野庁が植物群落保護林に指定している。

同市の花園溪谷、日立市の助川市民の森なども魅力的だ。

新緑輝く 茨城の春

桜が散り、若葉のつややかな緑色が美しい季節。小鳥のさえずりをBGMに、散歩を楽しんでみては。県内の新緑のおすすめスポットを紹介する。

各地の寺社

日常のなかで新緑を楽しむ場所が、各地の寺社だ。巨樹が多い上、整備された庭の緑も美しい。

代表格は、鹿嶋市宮中の鹿嶋神宮の境内にある樹叢(じゅそう)。県指定天然記念物に指定されている。

広さは約70坪で、スギ、ヒノキ、モミ、シイ、タフなどの樹木をはじめ約600種類の植物が生息し、それぞれにこの時期ならではの輝きをまとう。

周辺に「鹿嶋神の道」というウォーキングルートを設け、普及を図っている。神の道にも新緑が楽しめる場所が多い。

鹿嶋神宮の樹叢(鹿嶋市)



近年は地元有志らが同神宮と